

第33回日本環境感染学会総会・学術集会 開催のお知らせ（第4報）

第33回日本環境感染学会総会・学術集会を「感染制御における Best Practice の追求」をテーマとして、東京都港区において開催いたします。感染症制御に日常携わる医師，看護師，薬剤師，検査技師など多くの方々のご参加をお待ちしております。

11月17日（金）より事前参加登録および宿泊予約をホームページより受け付けております。事前参加登録費は当日受付より1,000円安い金額となっております。登録締切は1月初旬を予定しております。是非，奮ってご登録ください。

【第33回日本環境感染学会総会・学術集会 開催概要】

1. 会 長：針原 康（NTT 東日本関東病院 副院長・外科部長）
2. テーマ：「感染制御における Best Practice の追求」
3. 会 期：平成30年（2018年）2月23日（金）～24日（土）
4. 会 場：グランドプリンスホテル新高輪，国際館パミール，グランドプリンスホテル高輪
5. 学術プログラム（11月1日現在）
 - 会長講演，副会長講演，理事長講演
 - 招請講演 「認定看護師・専門看護師の教育と役割」
「医療事故調査制度について」
 - シンポジウム 「手指衛生遵守率の評価とフィードバック—最新技術を用いた先端施設の取り組み」
「欧米ガイドラインからみた手術部位感染予防対策」
「VREアウトブレイク：地域における蔓延をどう阻止するか？～地域での蔓延阻止は地域連携が鍵を握る～」
「診療科の特殊性を考慮した感染対策」
「どっぷり浸りたいあなたへ～透析関連感染サーベイランスを元にした感染対策から，透析室で日常遭遇する感染症対策まで～」
「薬剤師が ICT，AST メンバーの中で果たす役割を今改めて考える」
「感染症診断・治療・制御における4職種の役割と他職種に望むこと」
「看護師特定行為研修を感染管理に活用する」
「感染制御の戦略～どのように推進しますか～（仮）」
「今だから知りたい口腔衛生管理の基礎知識」
「日本における Clostridium difficile の流行状況と感染対策」
「効果的な抗菌薬適正使用支援を押し進めるために必要なエレメントは？」
「抗菌薬適正使用支援プログラムをめぐる新しい展開」
「感染制御のエビデンスを作る（仮）」

	「2017年の感染制御に関する Top Papers」
	「感染制御担当者に求められるマネジメント力」
	「バイオセーフティ（行政，医療機関，企業）」
	「Antimicrobial stewardship team のための MRSA 感染治療戦略」
パネルディスカッション	「医療環境の浄化に関する最新の技術（紫外線，蒸気化過酸化水素 [HPV]，エアロゾル化過酢酸など）と実務への応用：我が国での運用の可能性・適用範囲などを含めて考察」
	「軟性内視鏡器具の再生処理に関する課題と動向」
	「サーベイランスデータに基づいた現場実践～効果的なサーベイランスのフィードバックに向けた私たちの取り組み～」
	「アウトブレイクの経験をどのように生かすか」
	「アウトブレイク「こんなときどうする？」（仮）」
	「地域包括ケアシステムを推進するために必要な感染対策の視点～病院，施設，在宅等様々な立場から～」
	「HIV 感染症患者の入院・入所の拡大のためにできること」
	「インフルエンザ対策—どこまで行うか—」
	「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）を取り巻く現状：課題と対策」
	「国外で拡散し市中から持ち込まれる薬剤耐性菌と病院内での対策」
	「シングルユース製品（SUD）を取り巻く諸問題」
教育講演	「消毒薬の正しい使い方と新世代消毒薬の動向」
	「ベッドパンウォッシャー（汚物容器洗浄消毒装置）の適正使用」
	「サーベイランスのフィードバックデータを生かした現場改善（仮）」
	「カテーテル関連尿路感染のサーベイランスと対策—現状と今後の展望—」
	「SSI」
	「アウトブレイクと医療機関の損失」
	「長期ケア・在宅」
	「学校・保育園・幼稚園における感染予防—日常的な指導とアウトブレイク発生時の支援の実際」
	「大規模災害における口腔保健活動の課題」
	「わが国の結核の現状と課題～曝露予防と曝露後対応も含め」
	「培養検査のコツ教えます～原因菌を確実に検出するために～」
	「世界における AMR・HAI サーベイランスの動向と今後の方向性」
	「実用化予定の新規ワクチンの概要と展望（仮）」
	「感染防止対策のための Team STEPPS」

- 「院内感染する輸入感染症（麻疹, MERS, H7N9）」
- 「感染管理と栄養（仮）」
- 「ファシリテッドッグと感染対策」
- 「委託事業の感染対策—寝具, 清掃, 検査, 食事」
- 「知っていますか？ B 型肝炎教育のこと：医療従事者養成課程における実態と課題」
- 「ジェネリック医薬品（抗菌薬）についてよく知ろう（仮）」
- 「新規抗菌薬開発の現状（仮）」
- 「AMR アクションプラン 日本の戦略（仮）」
- 「トコジラミの脅威：ムシするとトリ返しのつかない事態に！」
- 「4学会提言：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌への臨床的対応—CPE を対象とした感染対策の重要性—」
- 「JANIS データの利用法について」
- ベーシックレクチャー 「消毒薬の基礎」
- 「感染制御に必要な統計学～入門編, 統計学を学んでみよう～」
- 「どうする？手術室」
- 「微生物を知ろう：アウトブレイクを起こす細菌 パート 1」
- 「微生物を知ろう：アウトブレイクを起こす細菌 パート 2」
- 「病院食管理の新しい展開」
- 災害時感染制御検討委員会企画 「感染制御のスペシャリストが担うべき災害時の役割～我々は何を学び, 何を創ろうとしているのか～」
- APIC とのジョイントプログラム
- JHAIS 委員会企画 「サーベイランスのプロが伝授！ 2016 年 JHAIS サマリーと症例判定」
- 第 14 回教育委員会講習会 「あなたの施設にも CRE がやってくる」
- 日本環境感染学会多剤耐性菌感染制御委員会企画 「確認しよう！ 薬剤耐性グラム陰性桿菌の基礎知識と感染対策の実践」
- 日本環境感染学会 職業感染制御委員会との合同企画
編集委員会企画 「職業感染制御委員会企画」
- 「臨床の知見をエビデンスにする—アクセプトされる論文を書くために」
- 日本外科感染症学会合同企画
- 日本医療薬学会合同シンポジウム 「AMR 対策アクションプランへの貢献：両学会がどのように関わっていくか・どのように結果を出していくか！」
- 日本救急医学会合同企画 「「救急外来部門における感染対策」の標準化に挑む 2017」
- 「第一部：合同 WG 活動報告 2017」
- 「第二部：感染対策をディベートで考える！救急医 vs 感染制御医」
- 新生児感染症管理予防研究会合同シンポジウム
職業感染制御研究会企画（シンポジウム, ベーシックレクチャー） 「NICU の感染制御一次の 10 年に向けた課題 3 選」
- 「血液体液曝露の残された課題（仮題）」
- 「研究にエピネットデータを利用するにあたって知るべきこ

	と」
私立医科大学病院感染対策推進会議企画	「大学病院における薬剤耐性菌対策—私立医科大学病院感染対策推進会議データからの考察」
あり方委員会企画	「ファシリティマネジメント 感染管理担当者のあり方を考える」
ICD 講習会	「本邦における医療関連感染サーベイランスを知ろう—医療関連感染サーベイランスとその活用による感染対策—」

他、一般演題（口演，ポスター），共催セミナーなど。詳しくは総会ホームページをご参照ください。

6. 企業展示

国際館パミールで開催いたします。

7. 参加登録について

2017年11月17日（金）から総会ホームページにて事前登録を開始いたしました。

事前登録費：10,000円

当日登録費：11,000円

（学生登録費は無料です）

8. 宿泊のご案内

2017年11月17日（金）から総会ホームページより申込いただけます。

9. 抄録集について

本総会では抄録アプリ「My Schedule」を使用いたします。

アプリ，およびWeb上から抄録を閲覧できるサービスとなります。

紙媒体，CD-Rでの抄録は作成いたしませんのでご注意ください。

10. お問い合わせ先

第33回日本環境感染学会総会・学術集会 運営事務局

株式会社コングレ

〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル 6F

TEL：03-5216-5318 FAX：03-5216-5552

E-mail：jsipc2018@congre.co.jp

11. 総会ホームページ：http://www.congre.co.jp/33jsipc/